

## 新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	特発性炎症性筋疾患における臨床・免疫病理学的解析
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	1980年1月1日以降、特発性炎症性筋疾患のため新潟大学医歯学総合病院神経内科で受診・入院歴のある患者さん。
③概要	<p>特発性炎症性筋疾患とは、筋肉の炎症により、力が入らなくなったり、疲れやすくなったり、筋肉が痛くなったりすることを基本的な症状とする病気です。代表的なものとして皮膚筋炎、多発筋炎などがあります。これら筋炎の有病率は10万人あたり約6人とされています。世界中で数多くの研究が行われていますが、残念ながら、現在のところ未だその原因が明らかとはなっていません。</p> <p>特発性炎症性筋疾患では免疫の異常を認めることが多いため、膠原病や自己免疫疾患（自分の身体に対する抗体などを持ち、免疫のアンバランスがその病因と考えられる疾患）に分類され、ステロイド治療、免疫抑制剤治療などが行われることがあります。</p> <p>近年、上記に挙げた代表的な筋炎以外にも様々なタイプの筋炎が報告されており、筋炎の治療も進歩しています。筋炎のタイプにより、筋肉の症状、全身（心臓、嚥下、呼吸など）の障害の合併、治療の効果は異なっており、各々の筋炎に応じた管理、治療が求められています。</p> <p>特発性炎症性筋疾患を患っている患者さまの臨床調査をすることで、各々の筋炎の原因・病態を明らかとし、適切な治療及び全身管理が可能となるよう目指しています。</p>
④申請番号	2017-0061
⑤研究の目的・意義	特発性炎症性筋疾患の原因・病態を明らかとし、適切な治療及び全身管理が可能となるよう目指しています。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から2027年7月まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	カルテに保存されている病歴、血液検査結果、生理機能検査結果、CT・MRI検査、病理検査結果を利用します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	病歴（年齢、性別、死亡情報、治療内容）、血液検査結果、CT・MRI検査結果、生理機能検査結果、病理検査結果など
⑨利用の範囲	新潟大学脳研究所神経内科
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学脳研究所・医歯学総合病院脳神経内科 河内泉
⑪お問い合わせ先	脳研究所脳神経内科医局 河内泉 Tel: 025-227-0666 E-mail: ikawachi@bri.niigata-u.ac.jp